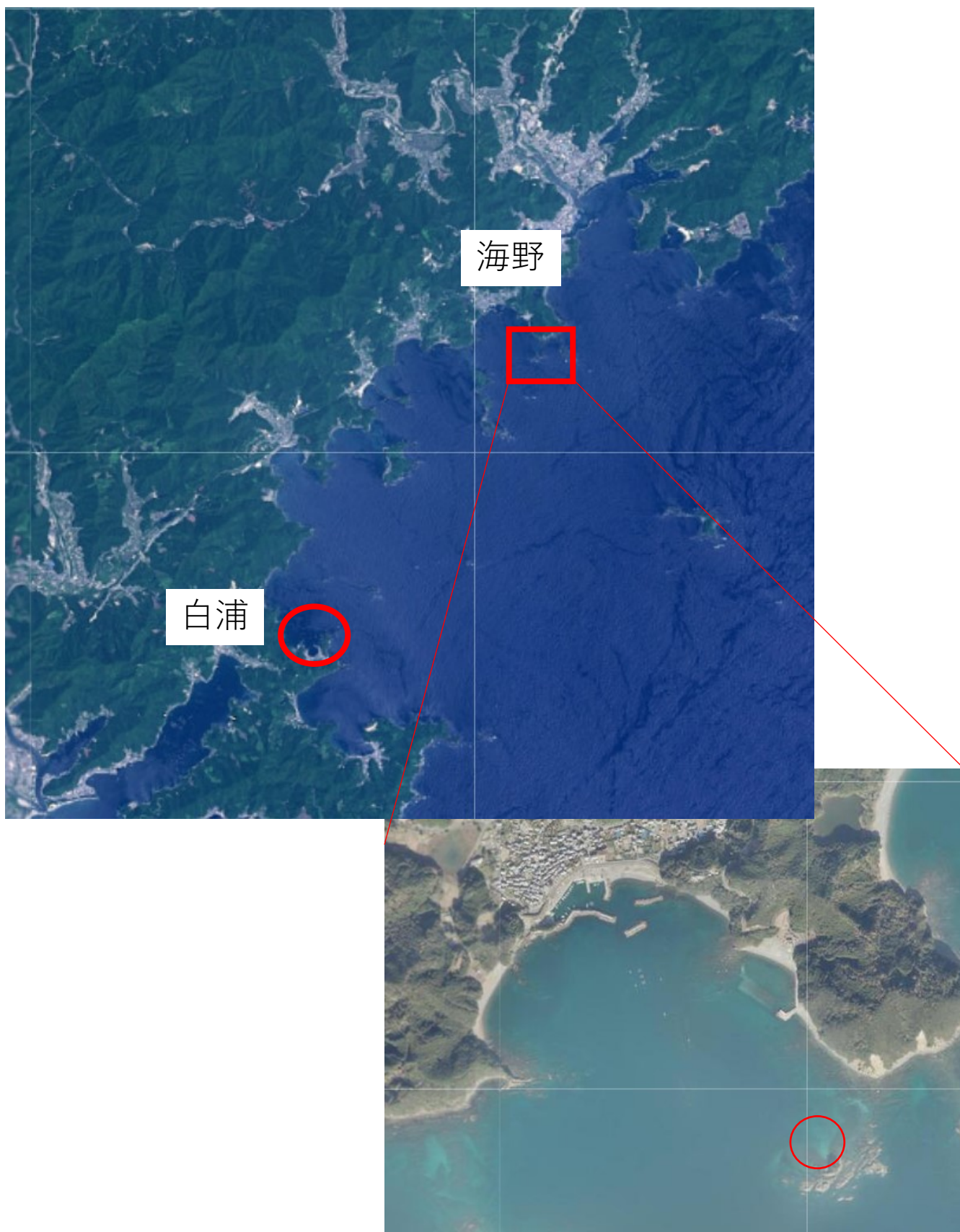


活動を行わないことによって藻場の衰退が見られた場所を示す。

ページA 海野地区30ヶ月間4回のモニタリング写真

ページB 白浦地区において駆除を行なってこなかったエリアと申請地区の比較写真



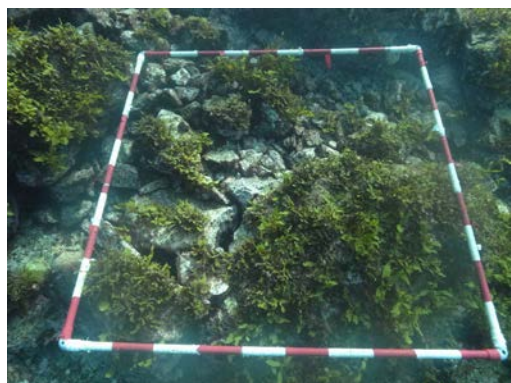
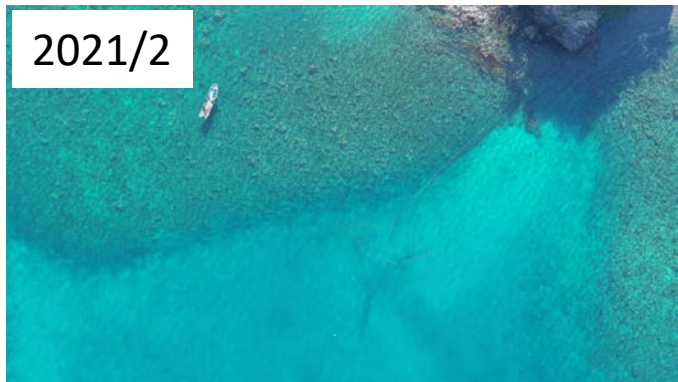
海野エリアにおいてガンガゼ駆除をしていないポイントの調査結果を下記に示す。
このことから現在も駆除をせずにいるとガンガゼの食害が進むと推定される。
(海野地区と白浦地区は約 6 kmの距離である)

A

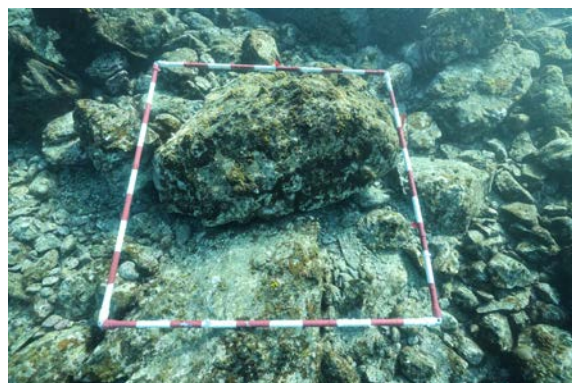
2020/2



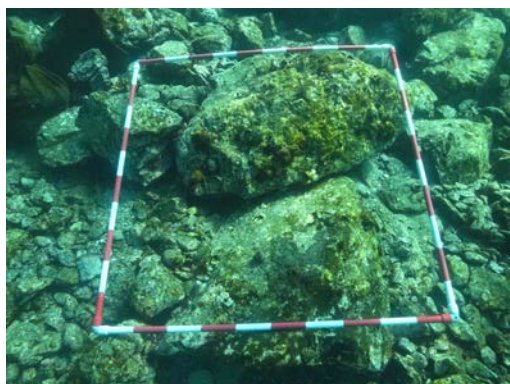
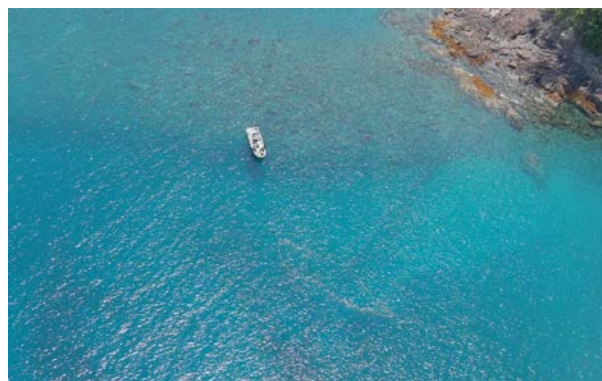
2021/2



海藻被度 50%
うちヨレモクモドキ45%
2022/2



海藻被度 20%
うちガラモ幼体15%
2022/6



海藻被度 5%以下
うちガラモ幼体が見られた



海藻被度 5%以下
うちガラモ幼体が見られた

白浦エリアにおいて駆除の実施をしていないエリアと比較した写真を示す。継続的に駆除活動を実施した申請箇所は海藻の被度が上がっているが、駆除をしていないエリアは磯焼け状態であり、多くのガンガゼが見られた。この2地点は約1kmの距離であるが、駆除を行わないと海藻が増えないと考えられるデータとして示した。



2022/10/22に潜って海中を撮影
ガンガゼによって磯焼けが起きており、藻場は見られなかった。

